

幌延フォーラム 2017 質疑応答の概要

●研究講演:「長期的な大地の動きを探る」～隆起と沈降、堆積と侵食～ に関する質問

質問)これまで、電力中央研究所(以下、電中研)は幌延町内で研究してきているが、その内容や成果はどこかで公表されているのか。

回答)論文や電中研報告としてまとめている。電中研報告は、当所の Web サイトを通じて公表している。

質問)日本では大陸プレートのお話をよく聞かすが、今日の講演の隆起・沈降や堆積・侵食は大陸プレートと関係があるのか。大陸プレートが関係しないところは隆起・沈降は少ないのか。

回答)プレートとなるとスケールが大きな話しになる。プレート運動の結果、断層・切れ目ができたり、地形が曲がったりなどといったことがより小さな空間スケールで起こる。今日の隆起・沈降あるいは侵食・堆積の話は、このようなスケールの事象の研究である。プレート運動の影響が少ないところは、隆起・沈降も少ない。代表的なところは海洋底。

質問)(資料 P28～P29 で)説明があった、電中研と産総研と原子力機構の共同研究はどのような資金で行われているのか。また、その共同研究はいつから行われているのか。

回答)経済産業省資源エネルギー庁の事業として、年度でいうと3年前(平成27年度)から実施している。

●幌延深地層研究センターに関する質問

質問)以前私たちは、原子力機構と共同研究をしている研究機関から幌延町で実施している研究の成果を報告する機会を設けることを要請したが、今回の講演は、私たちが要請したことと違っていると解釈してよいか。

回答)ご要望はお聞きしており、そのようなご意見も踏まえ、今回は電中研の研究を紹介していただいた。フォーラムの場合は、原子力機構を身近に感じて頂くことを目的に開催しており、電中研も同様の観点で、電中研の研究全体についてのご講演をいただくようお願いした。ご要望の通りの講演内容ではないことは確かである。

以上